

| | | | |
|---------|---|---------|---------|
| 氏名(本籍) | たけうち さつき (京都府) | | |
| 学位の種類 | 博 士 (スポーツ医学) | | |
| 学位記番号 | 博 甲 第 4752 号 | | |
| 学位授与年月日 | 平成 20 年 3 月 25 日 | | |
| 学位授与の要件 | 学位規則第 4 条第 1 項該当 | | |
| 審査研究科 | 人間総合科学研究科 | | |
| 学位論文題目 | デヒドロエピアンドロステロン (DHEA) が運動における関節軟骨代謝に及ぼす影響 | | |
| 主 査 | 筑波大学教授 | 博士 (医学) | 宮 川 俊 平 |
| 副 査 | 筑波大学教授 | 医学博士 | 今 川 重 彦 |
| 副 査 | 筑波大学准教授 | 博士 (医学) | 向 井 直 樹 |
| 副 査 | 筑波大学講師 | 博士 (医学) | 三 島 初 |

論 文 の 内 容 の 要 旨

(目的) 性ステロイドホルモン (DHEA) が軟骨細胞に作用する機序を明らかにすることと運動によってどのような動態を示すかを明らかにすることを目的とした

(対象と方法) 研究 1 では SD 系ラットの軟骨細胞を用いて, DHEA の存在下での軟骨代謝マーカーの発現を観察し, 研究 2 では成人を対象として, 負荷を変えて運動した場合の軟骨代謝マーカーと DHEA-S の動態を観察した。

(結果) 軟骨培養細胞の結果から DHEA の存在下で testosterone, estradiol の増加を観察し, 成人での運動負荷では関節に負荷がかかる運動において軟骨の代謝マーカーの増加を認めた。

(考察) 軟骨代謝に性ステロイドホルモンが影響する機序を明らかにすることができ, DHEA-S レベルが運動による関節軟骨分解の抑制に関与する可能性が示唆された。

審 査 の 結 果 の 要 旨

目的を達成するための研究の手法, 手順など科学的な根拠に基づいて行われており, 結果から導き出された考察も論理的である。

学位論文審査委員会において審査委員全員出席のもとに, 論文について説明をもとめ, 関連事項について質疑応答を行った結果, 審査委員全員によって合格と判定された。

よって, 著者は博士 (スポーツ医学) の学位を受けるに十分な資格を有するものと認める。